

松山島博覧会の開催

施策のポイント

島の活力を取り戻す為に、有人9島の島民が一丸となって、島固有の資源を活用し、自らの創意と工夫により開催されるもので、行政はあくまでもサポート役である。

自治体情報

愛媛県松山市

人口 / 514,137人

標準財政規模 / 101,892,855千円

担当課 総合政策部企画政策課

電話番号 直通089-948-6816 代表089-946-4894 内線6816

実施主体 松山市・松山島博覧会実行委員会

関連ホームページ <http://shimahaku.com/>

事業期間 平成22年度

参考とした施策

関係施策分類 ① ② ④

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

松山市は、平成17年1月に北条市・中島町と合併したが、その中でも中島地区を中心とした島しょ部は、過疎化や第一次産業の低迷など様々な課題を抱えている。これらの課題を解決し、島に元気を取り戻すことを目的とする。

2 取り組みの具体的内容

島しょ部には、島でしか体験することができない豊かな自然や農水産物、また、歴史・文化遺産が数多く存在する。これらの島固有の資源を積極的に情報発信し、島の魅力を伝え、また、体験してもらうために様々な催しを行う。

その内容は、集客事業、中核事業、広域連携事業、あいのり事業と大きく4つに分かれている。まず、集客事業としては、島に興味を持ち認知度を高めることを目的としたオープニングイベントや島で開催される中間イベントなどを行う。中核事業は、基幹産業である農水産業や豊かな観光資源を利用し、島を体験してもらうメニューを創出する。広域連携事業は、市内の交通結節点や市外の他地域と連携して、島をめぐるクルージング等の事業を行う。さらに、あいのり事業では、島で行われている既存事業を充実して行う。

この中でも中核事業と呼ばれるものは、「しまはく」終了後も島の活性化を目指して存続していくもので、まさに当事業の核となるべきものである。

この4つの事業を、一体的に推進することで、短期間で多くの誘客が図られ、島を知ってもらうことができる。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

島民主体の事業とすることで、一過性で終わらせるのではなく、島の基幹産業である農水産業の活性化につなげていく。

4 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

9つの島が点在するため、移動等に時間がかかるが、それでも各島で頻りに話し合いを行うことで、きめ細やかなメニューの作り込みを行った。

5 今後の展開と課題

一過性に終わらせないためにはどうすればよいか。また、島民が自立するのが最終目標であるが、それまでの間の行政からの人的サポートや補助金等の支援をどうするのが課題である。



予算関連データ

| 総額 ①～⑤の計 | | 財源内訳 (財源区分：①～⑤) | | | | |
|-----------------|-----|-----------------|-------------------------|------|-----------|----------|
| | | ①国費 | ②県費 | ③起債 | ④その他 | ⑤一般財源 |
| 62,308 千円 | | 0 千円 | 12,000 千円 | 0 千円 | 46,808 千円 | 3,500 千円 |
| ①～④の名称、 所管など | 名称 | | 愛媛県離島体験滞在 交流促進事業費補助金 | | 合併振興基金利子 | / |
| | 所管 | | 総務部新行政推進局 市町振興課 | | 理財部管財課 | |
| | 金額 | | 12,000 千円 | | 46,808 千円 | |
| | 補助率 | | 1/2 以内 | | - | |